



2022年5月13日

各 位

会 社 名 株式会社 紀陽銀行
代表者名 取締役頭取 原口 裕之
(コード番号 8370 東証プライム)
問合せ先 取締役常務執行役員 横山 達慶
経営企画本部長
(TEL 073 - 426 - 7133)

剰余金の配当（増配）に関するお知らせ及び2023年3月期年間配当予想について

当行は、2022年5月13日開催の取締役会において、下記のとおり、2022年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行うこととし、本年6月29日開催予定の第212期定時株主総会に付議することを決議しましたので、お知らせいたします。

また、2023年3月期年間配当予想について、下記のとおりといたします。

記

1. 剰余金の配当

(1)配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2021年5月14日公表)	前期実績 (2021年3月期)
基準日	2022年3月31日	同左	2021年3月31日
1株当たり配当金額	40円00銭	35円00銭	35円00銭
配当金の総額	2,681百万円		2,369百万円
効力発生日	2022年6月30日		2021年6月30日
配当原資	利益剰余金		利益剰余金

(2)理由

当行は、この度、地域金融機関としての公共性に鑑み、長期的に安定した経営基盤の確保や財務体質強化を目的とする適切な内部留保蓄積と株主還元強化の両立を目指し、株主還元を行うこととし、株主還元率は、配当と自己株式の取得を合わせ、30%以上とする方針としました。

今回、2022年3月期の業績をふまえ、1株当たり配当金を期初予想の1株当たり35円から5円増配し40円とすることといたしました。

2. 2023年3月期年間配当予想

当行はこれまで年1回の期末配当を実施してまいりましたが、2023年3月期からは、株主の皆様への利益還元を機会を充実させることを目的として、中間配当、期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことといたします。

2023年3月期の1株当たりの年間配当金は40円を予定しており、そのうち20円を中間配当金とし、同20円を期末配当金とする予定です。

なお、当行は毎年9月30日を基準日として中間配当を行うことができる旨を定款に定めております。

基準日	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
配当予想 (2023年3月期)	20円00銭	20円00銭	40円00銭

(ご参考)

基準日	1株当たり配当金		
	中間期末	期末	年間
当期実績 (2022年3月期)		40円00銭()	40円00銭()
前期実績 (2021年3月期)		35円00銭	35円00銭

2022年3月期末配当(40円00銭)については、2022年6月29日に開催予定の定時株主総会において承認されることを前提としております。

本資料の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の金額等は、今後様々な要因によって予想と異なる結果となる可能性があります。

以上